

『前立腺肥大症に対する経尿道的手術の術後経過に関する後方視的検討』

【目的】前立腺肥大症は中高年男性にみられる進行性の疾患です。治療の基本は薬物治療ですが、その効果が不十分であったり、排尿困難が続く場合、尿路感染症・血尿・膀胱結石などの合併症がある場合には手術が考慮されます。この研究は前立腺肥大症患者さんの経尿道的手術後の経過を明らかにし、例えば手術の効果が得られやすい方を早期発見し治療することで、患者さんの日常生活の質を向上することにつながる可能性があると考えます。

【期間】2024年3月1日～2026年3月31日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2012年1月1日～2023年12月31日までに当院で前立腺肥大症に対する経尿道的手術を受けた方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：これまでの患者さんの診療録

情報：年齢、性別、手術方法、併存疾患、投薬内容、排尿管理方法、採血、検尿、症状問診票、ビデオウロダイナミクス検査の結果を収集します。

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 泌尿器科 ・ 医員

研究責任者 橘 進彰